



アクテジ

NO.97

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

10周年記念公演を終えて



2018年1月13、14日の両日、劇団Sturm und Drangは10周年記念公演を滞りなく上演することができました。大きな声援を送ってくださったお客様、技術的にも精神的にも支えてくださったスタッフの皆様、そして今回参加して記念公演を盛り上げてくれたメンバーに改めて心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

芸術創造センターという劇団史上最大規模の劇場で公演するにもかかわらず、今回も、構成、演出、振付から衣装にいたるまで、手作りで一から作り上げました。

Sturm und Drangは「劇団」と冠してはいますが、実は公演ごとにメンバーを募るユニットです。劇団員ではないにも関わらず、積極的に色々な役割を受け、あの大量の衣装の作成まで手分けしてこなしてくれたメンバーの苦勞・負担はどれほどだったろうか…と今になって振り返って恐縮するばかり…。本当にありがとうございました。

以下、少々雑文にお付き合いを。

「何かを始めるならば、どんなことであれ10年間は続けなくてはならない。」

何かで読んだのか、あるいは誰かから聞いたのか…、それは忘れてしまったが、あの時の私の心には、その言葉が強烈に刻まれていた。

10年前、旗揚げ公演の挨拶に「まずは10年、何が何でも！」そう記した時の心情は今も少しも色褪せていない。

とにかく前を目指して歩いているうちに、遠い先のことだと思っていた10年後はあっという間に訪れ、そして続く記念公演も驚く程呆気なくその幕を閉じた。

しかし、改めて来し方に視線を移すと、そこにはギツ

結崎 涼 (劇団Sturm und Drang 主宰)

シリと様々なモノが詰まっている。夢のような出会いも苦しい別れも、漆黒の闇夜も煌々夜明けも…そういうモノが幾重にも折り重なって、織り上げられた10年の歳月。それは、少し離れて眺めれば唯々美しく、何日でもうっとりとした時を過ごせるに違いない。しかし、まだそれをする時期ではない。

実際に記念公演を終えてみると、ぼんやりと湧いてくる感慨も、足元に絡みつく疲労感も想像していたものとは質の違うものだった。

大切な節目だと思っていた。渾身の10周年だと思っていた。…しかし、それ以上だった。

10年経ってわかったこと、10年経ってもわからないこと、そして10年経ってわからなくなったこと。それぞれにいくつもある。

しかし、一番の大きな気づきは、ここを境にこの劇団は大きく舵を切らねばならない、ドラスティックに変革しなければならぬということだった。

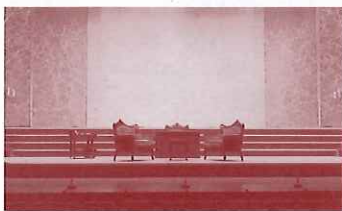
「自分が本当にやりたいことをする。」これは最初から掲げている目標の一つだ。

「本当にやりたいこと」それは明確なようで実は常とその輪郭が滲んでいた。捕まえようと思っても掴むことができない。しかし、いつか捕まえてやろう、そう思って10年走ってきた。

そして今回の記念公演を通してその裾にほんの少し触れることができたのではないかと、そう感じている。それはこれまでと同じアプローチでは捉えることができない。別のやり方、別の切り口が必要だ。

ここからの10年はそれを模索しながら変化を恐れず突き進むことにしよう。

皆様どうかこれからも劇団Sturm und Drangをご支援のほど、何卒よろしく願いいたします。



劇団Sturm und Drang10周年記念公演
「翠玉の記憶」(みどりのきおく)
2018年1月13日、14日
名古屋市芸術創造センターにて

トピックス

「PICO2についてとか」



PICO2に移転してから一年が経ちました。旧PICOから数えるともう少して丸5年。振り返るとそこそこ長くなってしまいました。が、出張公演が本業な自分としては、機材こそそこそこ持ってはいましたが自前で劇場的なものを持つつもりなど実は全くなかったのです。ところがある日、NEO企画さんのお手伝いで今はなき菊井町のスタジオに入った時に「あ、自前のスタジオっていいもんだなあ」と思ってしまったが運の尽き。そこから物件探しに奔走し、4か月後には旧PICOの契約を終えてしまっていました。残念ながら旧PICOは赤字が膨れ上がった結果天に召されてしまいました「スタジオなんかもうやめよう」と誓ったはずなのですが、気がついたらPICO2の物件に巡り合い移転してしまっており自分自身なかなか頭が悪いなあとも嘆いている次第です。そんなPICO2ですが、私の公演事務所兼倉庫兼稽古場以外にも各種発表の場とし

杜川 リンタロウ (芝居屋・PICO2代表)

て貸し出しもしております。作る際に私が決めたのはただ一つ、「色と匂いのある場所でいよう」ということ。以前から名古屋演劇界の中心部から遠く離れた海の中50kmくらいの場所において、「みんなちがってみんないい」を軽薄に自称するこの私が作るスペースです。ですから、ユーザビリティを重視した無味無臭な、いわゆる使いやすいいスペースにはならないぞと。昔は数多く存在した、小屋自身が持つ面倒くさい色と匂いを出すスペースにしておこう。いや、しなければならぬ。そう固く心に決めたのでした。おかげさまで移転後は赤字も減り随分ラクになりましたが、私とPICO2はいつでもそういう変わった色と匂いに引き寄せられてしまう社会不適合者、いやはぐれ者を、演じ手・観客ともにお待ちしております。今度は当然この場所で続けられそうですので、よろしければ是非とも探してお立ち寄りくださいませ。



PICO2
(名古屋市北区)

アクテノン・シャワー

■『受賞おめでとうございます』

- ◇ 名古屋市民芸術祭特別賞 演劇部門(精励賞)
- 劇団名古屋創立60周年記念公演
- 第2弾「ありがと」



劇団名古屋創立60周年記念公演
第2弾「ありがと」
2017年11月25日
名古屋市港文化小劇場にて

■ 資料コーナー図書の出しのご案内

資料コーナー所蔵の舞台芸術専門図書等を貸出ししています。演劇全般、国内・海外の戯曲等、様々な図書を取り揃えています。貸出し期間は2週間、2冊までです。どなたでもご利用いただけます(身分証明が必要となる場合があります)。是非お立ち寄り下さい。

利用時間：9:30～19:00
休館日：月曜日(休日の場合は翌平日)



アクテノン利用団体紹介

- ①発足年 ②回員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④連絡先

演劇 劇団星めぐり

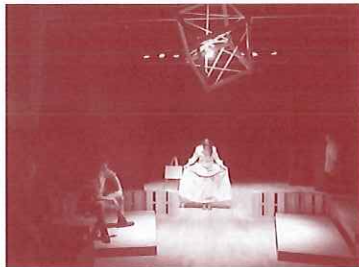


星の見える山の上。
そこで私たちの演劇は始まりました。
同じ中学高校に通ったメンバーで、2015年に結成。現在、全員大学生の劇団です。きれいではない物語をこよなく愛し、今までいわゆるファンタジーと言われるような作品を作ってきました。
次回公演
劇団星めぐり第3回本公演『ムーンライト』
日程：3/30(金)～4/1(日)、場所：ナンジャール
よろしくお祈りします。

- ①2015年 ②10名
- ③『はっぱとかみさま』/鐘場('17年) 『ヒカリノ国』/ナンジャール('17年) 『終わりなきコウカイ』/ナンジャール('16年)
- ④紗由美
- HP: <http://gekidanhosimeguri.wixsite.com/gekidan-hosimeguri>
- E-mail: gekidan.hoshimeguri@gmail.com

アクテノンに一言 いつもありがとうございます。大道具の使用にも寛容で、机やイスもたくさんあり、CDプレイヤーも置いてあるので、とても稽古に身が入ります。これからもよろしくお願いします!

演劇 劇団粋んぐHigh



稽古は週1回、日曜のみの稽古で、仕事と両立しながらやれる劇団として、2012年2月に安城市の演劇祭でプレ公演をし、翌年の2013年にユースクエアにて旗揚げした劇団です。
漫画のような脚本に、オープニングダンスを入れたお芝居をしています。
安城市演劇祭には、プレ公演から毎年参加させていただいて、名古屋でもユースクエアを拠点に本公演をしています。

- ①2012年 ②4名
- ③『フィクションズ』/アンフォーレ('18年) 『テレリアル』/ユースクエア('17年) 『高浜家のモグラ塚』/中村文化小劇場('16年)
- ④黒猫まさきゅん
- HP: https://twitter.com/gd_swinghigh
- E-mail: gekidan_swinghigh@yahoo.co.jp

アクテノンに一言 名古屋で演劇の稽古をするなら、やっぱりここ!! 駐車場も各団体ごとに止められる台数も決まって満車なんてことがない。本当にありがたい!!

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。※詳細は劇団へお尋ね下さい。①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

<p>Actors Style 2017年度ワークショップ公演 『Big Tree ~WONDERFUL WORLD~』</p>	<p>① ナビロフト ② 3月10日(土) 19:00、11日(日) 11:00 15:00 ③ 1,000円(当日1,500円) ※日時指定、全席自由 ④ info@actors-style.com (制作) 東京での22年間の演劇経験を活かし、山口敦史が名古屋で活動開始! 乞うご期待!</p>
<p>交響劇団 星座セプテット 第6楽章 『明治探偵譚 ~九尾の狐と陰陽師~』</p>	<p>① ナビロフト ② 3月17日(土) 19:00、18日(日) 11:00 15:00 ③ 1,800円(当日2,000円) ④ hoshiyadoshi.7tet@gmail.com 探偵×妖怪×明治時代→レトロファンタジー!</p>
<p>刈馬演劇設計社 LOFTセレクション第2弾 刈馬演劇設計社PLAN-12 『フラジャイル・ジャパン』</p>	<p>① ナビロフト ② 5月17日(木) 18日(金) 19:30、19日(土) 13:00 18:00、20日(日) 11:00 16:00、21日(月) 24日(木) 19:30、25日(金) 13:00 19:30、26日(土) 13:00 18:00、27日(日) 16:00 ③ 2,800円(当日3,000円) U25 2,300円(当日2,500円) 高校生以下1,800円(当日2,000円) ④ karuma_engeki@yahoo.co.jp 刈馬カオス、約2年振りの新作戯曲! 壊れやすい国で、それでも生きていく——</p>
<p>劇団マネキン 『レッツゴー・マイベッド!』</p>	<p>① g/pit ② 5月18日(金) 19:30、19日(土) 14:00 19:30、20日(日) 11:00 15:00 ③ 1,800円(当日2,000円) 学生1,500円(要予約) ④ gekidanmanekin@gmail.com 第3回公演です。題名ですがセクシーな意味では無いです、謝罪。でもお楽しみに。</p>



編集発行/平成30年2月25日(年4回)
名古屋市民芸術祭名古屋市民文化振興事業団 [演劇練習館「アクテノン」]
〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-4-7
TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632
※この印刷物は、古紙/パルプを含む再生紙を使用しています。

